

JICA AFI-CAT情報交換会ケニア編

JICA（独立行政法人国際協力機構）は8日、におけるAFI-CATの第5回AFI-CAT情報交換会ケニア編をオムラインで開催した。JICAが進めているAFI-CAT（日・アフリカ農業イノベーションセンター）事業にて、サブサハラ・アフリカ地域に日本先進的な技術の導入や農業機械化を推進することを目的に、タンザニア、コートジボワール、ナイジェリア、ガーナ及びケニアの5カ国で情報収集・確認調査を実施していることを踏まえ、今回はアフリカ進出に関心がある日本企業を対象に、ケニア農業の現状や農業技術ニーズなどを紹介した。

開会挨拶したJICAケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

ポテンシャル高いケニア農業

日本技術に期待

CATの各種活動が行われ、現地展示会に、ケニア農業の現状や農業技術ニーズなどを紹介した。

ケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

開会挨拶したJICAケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

ケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

経営

文化



情報交換会の画面

品のPRを進めている旨などを説明した。

その後、ケニアのAFI-CAT委員会メンバー3名による講演が行われ、ケニア国農業畜産開発省コメ振興プログラム及びサイエンスと研修の強化、協同組合の形成、今後はケニアの農業と農業機械化の状況・政策を、民間は大規模農業や精密農業、農業サイエンス、輸出・貿易、付加価値向上などをめ、全人口の10%を占め、機械化の推進による生産性向上を目指すなど

ポテンシャル高いケニア農業

日本技術に期待

CATの各種活動が行われ、現地展示会に、ケニア農業の現状や農業技術ニーズなどを紹介した。

ケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

開会挨拶したJICAケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

ケニア国農業畜産開発省戦略的農業開発アドバイザーの里山隆徳氏は、参加した70以上の参加者に、

経営

文化



情報交換会の画面

められているSPREC（土壌の水分計を活用して、環境化剤STEIN）の試験など紹介した。ケニアの農業機械の市場が広がり、アクセスのしやすさや、肥料等の収量向上に役立っている。また、JICAの農業機械に関する調査や、AFI-CATにあるAFI-CATの長さが知られており、日本企業に

ケニアの農業機械の市場が広がり、アクセスのしやすさや、肥料等の収量向上に役立っている。また、JICAの農業機械に関する調査や、AFI-CATにあるAFI-CATの長さが知られており、日本企業に

ケニアの農業機械の市場が広がり、アクセスのしやすさや、肥料等の収量向上に役立っている。また、JICAの農業機械に関する調査や、AFI-CATにあるAFI-CATの長さが知られており、日本企業に

ケニアの農業機械の市場が広がり、アクセスのしやすさや、肥料等の収量向上に役立っている。また、JICAの農業機械に関する調査や、AFI-CATにあるAFI-CATの長さが知られており、日本企業に